

平成30年第6回田原市教育委員会定例会会議録

- 1 開会 平成30年6月21日 午後1時30分
- 2 閉会 平成30年6月21日 午後2時30分
- 3 会議に出席した委員
花井隆教育長、金田真也教育長職務代理者、山本明子委員
土井真紀江委員、太田孝雄委員
- 4 会議に欠席した委員
なし
- 5 会議に出席した職員
教育部長 宮川裕之
教育総務課長 伊藤英洋
学校教育課長 杉田哲利
生涯学習課長 森下 錬
スポーツ課主幹 粕谷幸充
博物館長 鈴木利昌
文化財課長 増山禎之
中央図書館長 豊田高広
教育総務課主査 彦坂幸子
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第6回定例会議事日程

日 時 平成30年6月21日（金）

午後1時30分

場 所 南庁舎4階 政策会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議 題

- (1) 田原市図書館協議会委員の任命について

4 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 田原市議会第2回定例会一般質問について

5 その他

教育長

開 会 午後1時30分

本日は、何かとご多用のところ、ご出席くださりまして、ありがとうございます。

ただいまの出席者は5名であります。定足数に達していますので、平成30年田原市教育委員会第6回定例会は成立いたしました。これより開会いたします。

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者として、「金田委員」と「山本委員」のご両名を指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議題に先立ち教育長報告を、私からさせていただきます。

5月11日、第5回の定例会

5月17日、18日、全国教育長協議会総会ということで岩手県一関市に行ってきました。文科省のいろいろなお話ですとか、教育長会という事でいろいろ協議することがありまして、自分自身一番印象に残っておりますのは、小中一貫校の取組をそれぞれの県で行っているというところでした。そういう取組とともにやはり少子化の時代ですので、統廃合の問題等もありまして、福島県のいわき市では、統廃合でバス代が1億5千万円かかっている、今後は2億円になってくると。後で市議会の話題を部長からさせていただきますが、給食費を全部無料化すると、2億5千万から3億ぐらいのところですけど、そのうち田原市もバス代が膨らんでくると給食費を補えるぐらいになってしまうなどという懸念も抱きながら、統廃合に係る難しい部分も感じておりました。そんなことで大事な2日間だったかなと思います。

5月19日、小学校の陸上競技大会。電気計測ということで、100分の1秒まで出るということで、結構新記録なども出て印象的でした。

5月23日に、東三河教育長会議が新城設楽支所でありました。話題としては、公立学校の教員採用試験、教職員の評価、障害者雇用の状況、児童生徒の重大事故等、さまざまな話題が東三の所長、設楽の所長から連絡がありました。

また、研修という形で市町村立学校の教職員定数、旅費予算、施設・設備について、県の財務施設課長からもお話がありました。なかなか県のほうも予算的に難しい部分があるようですが、学校の先生の旅費について、特に名古屋から遠い田原市としては、いつも旅費が不足していますので、そういう現状をお含みくださいというお話を、私のほうからさせていただきました。

5月24日、崑山会の理事会。崑山会の状況について、予算や事業報告、計画等のまとめがありました。

そこから5月の後半は、また皆さん方にお話しいただきますが、体育大会、運動会が盛んに行われたかなというように思います。

5月31日、田原中学校への学校訪問。

6月3日、田原を美しくする推進デー。

6月4日から田原市議会の本会議が始まりました。一般質問等がありまして、昨日、最終日4日目が終わりました。

6月6日、市町村教育長代表者会ということで、今年教育長会の幹事という役をいただきまして、名古屋のほうへ出かけてきました。教職員定数の増などの、県へのいろいろな要望を教育長会として挙げていくということの調整の会で、8月には、県の教育長にお願いをしていくという予定になっております。

6月6日から、プリンストン市ギブソン郡の訪問団ということで、先生4人、生徒9人の受け入れがありました。6月8日のウエルカムパーティーには教育委員の皆さんにもご参加いただきありがとうございました。

6月12日、13日に文教委員会、予算決算委員会

6月19日、童浦小学校への学校訪問

本日午前中は、田原東部小学校への学校訪問に行っていました。

あとこれからの学校訪問が来週に向けて、続けて入っておりますので、委員の皆様にもご協力をいただきたいと思います。

それから、ここに書かれていない部分で、大阪の地震による、今盛んに報道されているブロック塀について。今日も教育総務課長のほうで、学校等を回っておりましたが、その部分について報告をお願いします。

教育総務課長

本日朝から、私が赤羽根エリア、小久保補佐が渥美エリア、藤井が田原エリアを回っておりまして、明日までには全校のチェックが終わるという予定でいます。

私が回ったところでいくと、1校高松小学校の西側のプールの横に、万代塀が、四、五メートルありまして、そこが少し危険かなという部分であり、一応写真を撮り、測量してきました。赤羽根中、赤羽根小、若戸小については、ほとんど危険な面というのは、ブロック塀もなく、プールでいっても擁壁の上に金網フェンスになっていますので、大阪の事故にかかわるようなものではありませんでした。

ただ、補佐が午前中に回った、中山小学校は、道沿いにプールを囲むような、高い壁がありますので、ああいったところは、危険箇所なのかなという気はします。

ほぼほぼ、そんなにあそこもここもというような学校はないですけど、部分的には、少し手を入れないといけないところが出てくるかもしれません。

教育長

そういう状況で、田原市としては、昨日コミュニティの協議会がありましたので、そういう場でも防災局のほうで中心となって、学校施設だけでなく、市民館等のいわゆる公共施設等、それから通学路等も含めて危険箇所の把握をしていただくために動いていただくということで、教育委員会として各地区のコミュニティ会長さんたちに依頼していくということで動き出しますので、ご承知いただきたいと思います。

以上、私のほうからの報告ということで、何かご質問等がありましたらお願いします。

よろしいですかね。

それでは、教育長の報告事項を終わりにして、これより議題に入りたいと思います。

初めに、議案第21号「田原市図書館協議会委員の任命について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

中央図書館長

中央図書館、説明します。

田原市図書館協議会の委員の充て職者が変更ということで、それに伴いまして、改めて2名任命をお願いするものです。

1枚はねていただきますと、候補者の名簿がございます。その中の1番と2番、河合寛則先生と本多幸代先生が新たに任命をお願いしたい候補者ということになります。

以上でございます。

よろしく願いいたします。

教育長

ただいま、事務局から説明がありました。

ご質問等ございますでしょうか。

では、ご質問もないようですので、お諮りいたします。

議案第21号「田原市図書館協議会委員の任命について」、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

では、ご異議なしということで、議案第21号につきましては、原案どおり可決いたしました。

続いて、報告事項に入りたいと思います。

では、教育委員の皆様方の連絡報告事項を順次お願いいたします。

金田委員からお願いいたします。

金田委員

5月14日に第1回東三河教科用図書採択協議会に出席いたしました。公正の確保の重要性を教えてもらいました。

5月19日、田原市の小学校陸上競技大会に行っていました。海のほうから吹く北風がとても強かったのですが、松が生えていて、それが今いい感じで防風林になっていたおかげで、子どもたちがいる

テントだとか、競技にあまり風の影響がなく、追い風でいいタイムが出るのかなと思いました。家に帰ったらビニールが破れていたの、そうとう強かったんだなと思いました。

また、計測機導入により、時間通りに進行するようになったということで、あと、子どもたちのテントにも大きい時計が1つずつあって、ああいうので時間の重視とかいったことを教えているのかなと想像がつかしました。

あと、今年から4×100メートルリレーにルール変更があって、バトンゾーンがちょっと広がり、早い子が長い距離を走るような、そういうようなルールになって、戦略もいるのかなと、何かおもしろそうだなと思いました。バトンを落としたりとかして、力の差があったのですけれども、最後まで全力で走っている姿は、とてもいいものだなと思いました。

5月26日の午前中、大草小学校に行かせていただきました。今年からラジオ体操ではなくて、大草といたら相撲ということで、相撲体操ということで、日本相撲協会から相撲体操DVDというものがあって、それを参考にして、先生が太鼓をたたいて、それに合わせて相撲の型を取りながら、声を出して体操していました。

豊橋の相撲協会の人もお招きしてまして、土俵がある学校が田原では、大草小学校だけ、豊橋でも小学校にゼロ、中学校に3校だけとなってしまうと、こういった相撲を取るところは全国でもまれということで、とにかく大事にしてほしいというか、そういうことをおっしゃっていました。

またその反面、運動会するとき、この春の大会は、女の子は土俵に上がらないということだったのですけれども、憲章の幕を出して、交通安全ルールみたいなことをやって、女の子も相撲はやらなくても土俵に上がるんだよということをやっているんだなということには、感心しました。

いつもながら、地域、保護者がそういったことを理解して、すごく応援してくれている、そういったような風土の学校だなということを感じました。

昼から、神戸小学校に行かせてもらいました。本当は、神戸っ子ソーランに間に合うように行きたかったのですけれども、間に合わなくて、見てないのですけれども、6年生が4年生に神戸っ子ソーランを教える伝統は変わってないということ先生から聞いて安心しました。あれを見ると、杉浦校長先生でしたか、平成20年に亡くなった、あの先生を思い出しますので、ああいいなと思っています。

あと、去年新しく入った先生が1年経ってぱっと見たときに、だいぶ進歩しているというか、成長したなあというのを感じられたのもよかったです。

6月8日、プリンストン市交流団歓迎会に行ってきた、生徒9名、先生4名を受け入れている家庭の方々、本当にお疲れさまだなと思いました。

自分も学生のとときに2カ月間、蒲郡で農業体験を住み込みで研修をやらせてもらった経験があつて、また反対に学生を受け入れたことも何度かあるのですけれども、そういった経験をしたことによって、自分が研修に行ったときは、一生懸命にやっていたつもりなのだけれど、実はあまり役に立っていなかったのかなとか、行ってさらに今度は受け入れると、自分がまたそのときどうだったかということを考え直す機会ができて、受け入れることによってよかったなと思いました。

なので、行った人のところにまた誰かを受け入れたりだとか、そういった関係というのが、またより勉強になるのかなというように感じました。

以上です。

ありがとうございました。

では、山本委員、お願いいたします。

私は、5月25日の田原中学の体育大会に午前中出席いたしました。毎年、いかだ流しがとても楽しみで。いかだ流しが途中で何回も落ちてしまうけれども、とてもいい競技だなと思いました。

陸上の中でも幅跳びとか、高跳び、いつも同時進行でやっていくのですが、今年は別でやっていると思います。リレーとか短距離走だけをやっていたので、集中して見られたなと感じました。ちょっと経緯は聞いてないですけれども、ということで行ってきました。

5月26日、午前中は南部小学校、午後は衣笠小学校の運動会に行きました。午前中の南部小学校の運動会は、地域対抗の親子で競技するいろいろなゲームがある中、綱引きの綱が古くなってきて、取りかえたほうがいいのではないかとっていました。

南部小学校は午後からは地域の運動会だったので、午前中でご無礼して、午後から衣笠小学校へ行きました。南部小学校も確か鈴割りがあったのですけれども、衣笠も帽子取りと鈴割りがあって、どちらもそうだったですけど、なかなか決着がつかなくて、それがとても印象的だったことと、それから、来賓席にいましたら地域のコミュニティの方が何人か私の近くにいたのですけれども、すごくヒートアップして、応援がすごかったので、これはやりがいがあるなと思いました。ある方は家かどこかにずっと勝敗とかそういうのを伝えていたり、別の方は孫の一人が中部小学校にいて、中部小学校はどうなんだと聞いていたり、ずっとやっています、さながら何かの試合をテレビ観戦をしているみたいな感じで、応援がすごく楽しくて最後まで見ました。

5月29日、県の連合会理事会で江南市に行きまして、今回は議題もと

教育長

山本委員

くにありませんでした。これまで理事だったんですが、7月13日の総会で役員の入れかわりとなり、来年から一応これは総会で決議したわけではないですけど、田原は理事から外れますということでした。

5月30日、県の教科書選定審議会に出席しました。これはもう、あまり私のほうから言うことはそんなにないですけど、教科書を選ぶための基準みたいな、ルールをつくってきたのですけれども、細かいところでいろいろ意見が出て、終わってからも、私は副会長なので、会長と副会長と事務方の人とで、議論したり、でもあれだけ一生懸命やっつけてくるので、そういう基準になるものとなる会に入れさせてもらって、すごく勉強になりましたし、責任を感じております。

教育長

それぞれ大変お疲れさまでした。

続きまして、土井委員お願いします。

土井委員

5月26日、午前中は中山小学校、午後から清田小学校の運動会に行つてまいりました。

中山小学校は、自分の息子が出てからもう3年ぐらい学校に行つてなかったの、久しぶりの学校だったのですけど、やはり最初に感じたのが、生徒数が大分激減してきたなというのと、来年から地区別のリレーがなくなること。小中山の地区がこのまますごく減ってしまうので、少しずつ違う感じだというので、せっかくリレーはすごく盛んなので、残したいということで、校長先生がその話をされてました。保育園と合同でやる運動会だったのですけど、保育園の子も実際、本当に子どもが減っているの、いろいろな学校の運動会に行かせてもらおうと、やはりすごく減った学校と、多い学校との差がどんどん出てきているなというのは、身に染みて感じました。

午後から行った清田小学校は、すごく生徒数が少ないので、こういうことが目に見えてわかる。こういった行事に参加すると感じるなと思ったのですけど、清田小学校はやはり、ほかの学校ももちろんですけど、生徒数が少ない分、地区の人がすごい率先して参加していらして、ちょうど私が行ったときには、大玉送りをやっていたのですけど、もう大人の人がみんな、ほとんど全員出ていて、子どもや親がみんな一生懸命楽しんでるなというのを感じたので、そういう運動会もやはりいいなというふうに思いました。

今日、田原東部小学校の学校訪問に行かせていただいて、これも何校か中学校、小学校の学校訪問に行つて感じたことは、やはりその地区、その地区の学校の特色というか、その学校のよさと、この学校の特色を保護者も感じ方ももちろん違ふだろうし、先生たちが一生懸命それに対して、子どものことをまず、第一に考えてやっているなというのをすごい感じました。

以上です。

教育長

はい、ありがとうございました。

太田委員

では、太田委員お願いします。

私は、3校の体育大会、運動会に行かせていただきました。

5月24日、多分市内では、一番早く赤羽根中が体育大会を行いました。前日が雨で、準備ができずに当日1時間早く準備を始めて、予定どおりの開始ができました。ただ、雨上がりで強風のために来賓のテントもなく、競技もやっぱり風によって影響されているようでしたけれども、無事進行されておりました。

私がいたときよりも、さらに人数が少なくなり、生徒、教師たちもまとまりのある体育大会でした。

平成33年の泉中との統合に向けて、今年は特に内容の大きな変更はなかったのですが、今後こういった競技についても統合に向けて、アレンジしていくのかなというようには思いました。

5月26日、午前中に若戸小学校、午後は赤羽根小学校の運動会に参加させていただきました。

若戸小学校につきましては、先ほど土井委員からもありましたように、小規模校のよさというか、地域、保育園との合同の運動会という色彩が大変よく出ていて、地域の方々が子どもたちと一緒にやる種目もあり、地域だけでやる種目もありますけれども、多くの種目に参加をしておりました。また、私が見る限り大変地域が主体的に、小学校の運動会に参加しているなということを感じました。

午後から、赤羽根小学校の運動会のほうへ行きました。私は赤羽根小校区の老人会もやっているものですから、小学生と一緒に玉入れに参加をしましたけれども、若戸に比べると少し赤羽根のほうが、地域と学校との合同という色彩は弱いように思いましたし、午後は来賓もかなり少なくてテントはがらがらでした。それから種目も全体で22種目あるのですが、午後は6種目しかないものですから、もう少し早く赤羽根に来たほうがよかったのかなというように思いました。

5月31日に、田原中学校の学校訪問に行かせていただきました。今までは受ける側で、こうして訪問する側になったのは、何回もありませんけれども、田原中学校は授業参観が2時間ありましたが、各時間13から14教室回って見なければいけないものですから、なかなかじっくり参観できず、本当に授業の雰囲気、表面的なところしか見られなかったし、先生の様子についても十分把握することができませんでした。

校長先生から学校経営の柱についてお話がありまして、私も以前、田原中学校に勤めたことがありますので、市内では一番大きな学校ですし、機能的な組織をつくっていくということが、学校経営にとって大事ななというように常々思っておりましたけれども、今年は、確かな専門性とチームとしての組織力を備えた教師集団というものを掲げてありました。4役、進路、生徒指導、学年主任、保健主事、こういったポイントとなるポストの方々を上手に機能させていくということ

が大事だと思いますが、田原中学校規模でも、生徒指導主事が担任を持っているということは、少し私としてはどうかなというように思いました。もちろん、2人担任ですので、いつでも自由に動ける時間があるのですけれども、やはり講師の先生方が多くなって、正規採用の教員の数をもっと増やさなくてはいけないなということを田原中学校の学校訪問で感じましたので、やはり教員の定数増というのは、これからも要望していくべきではないかなというように思いました。

それから、授業力の向上ということで、授業改善週間を設けたり、田原中学校は各教科の先生が複数おりますので、強化部会を機能させたりというような取組をやっておりましたけれども、これからまた道徳の教科化等もありますので、道徳に向けても取り組んでいってほしいなというように思いました。

それから、在校時間の問題が学校訪問のときにも話題になりましたけれども、学校はいろいろ新しいことの実践がどんどん増えていって、膨れ上がってきているので、新しいことを入れていく半面で、削除したり軽減したりする、そういったものも管理職なりが示していけると、先生方がもう少し楽になれるのではないかなということを感じて、少しお話をさせていただきました。

6月8日にウェルカムパーティーに出させていただきます。私は2012年にギブソン、プリンストンのほうに訪問させていただきましたので、今回もギブソン、プリンストンでしたので、大変に懐かしい気持ちと昔の自分の訪問したときのことを思い出しながらお話しさせていただきます。

やはり、積極的なコミュニケーションを取ろうという、そういう姿勢がお互い持てると、多少言葉の壁があってもコミュニケーションができていくのではないかなということで、自己開示をする、そういうようなことを通して、いろいろな人にコミュニケーションを取っていくことが今回の向こうから来た人たちもできていましたし、子どもたちや、それから受け入れの家庭もそういったフレンドリーな自己開示ができていたのではないかなと、パーティーに参加させていただいて感じました。

以上です。

ありがとうございました。

では、教育委員さんの報告事項を終わりたいと思います。

次に、報告事項の(2)田原市議会第2回定例会一般質問について、事務局から報告をお願いいたします。

6月の田原市議会定例会ということで、まずは議案の関係を言いますと、今回は19の議案を提案してすべて原案どおり可決されたということです。

教育長

教育部長

主な議案といたしましては、人権擁護委員さん3人の任期満了に伴い、1人が再任、あとのお2人の方が新しく人権擁護員に選任されたということ。

それともう1件、条例としては、空き家が増えているということで、空家対策協議会を市で設置すると、この議案が可決されました。

教育委員会の関係で申しますと、児童クラブの支援員の資格を拡大する条例。今まで高校を卒業して、児童クラブ等の経験があれば、対象者になっていたものを、今回、高校卒業という枠を取りまして、高校を出てなくても児童クラブなどの経験が5年以上ある場合は、支援員になれますという、資格を拡大する条例が可決をされました。

報告事項では、教育委員会からは、華山会の経営状況について、議会に報告をいたしました。

一般質問につきましては、教育委員会に関係するところをお話しさせていただきますと思います。

まずは、自民クラブの仲谷議員から、がん対策についての質問があり、この再質問の中で、学校でのがん教育はどうなっているかという質問がございました。こちらのほうにつきましては、がん教育という、がんだけではなくて、禁煙、飲酒、薬物乱用こういったものも含めて、小学校、中学校で教えていますというような話をさせていただきました。やはり、子どものころから、それぞれの発達段階に即した正しい知識や、こういった薬物や病気の怖さが、子どもたちに身につくように、学校現場とも話をしながら進めてまいりますという答弁をいたしました。

次に、自民クラブの長神議員で、小中学校の環境整備の取組についてということで、まず1番目の教室内の環境というのが、エアコンの設置についての質問でした。

特に、文部科学省が学校の教室の望ましい温度の基準というのを改正いたしました。今まで10度以上30度以下という基準だったのを改正して、17度以上28度以下ということで、特に寒さの方が10度から17度と大きく引き上げられました。そういったことから考えても、エアコンの設置も考えていかなければならないのですが、また後のほうにも、関連していきますけど、やはり学校施設が非常に古くなっていて、教室内の環境というのも大事ですけど、子どもたちの安全に直結するような修繕であるとか、雨漏りの対策も必要であり、そういったもの、学校全体の整備を見ながらエアコンというものも検討していきますと、こういった答弁といたしました。

2番目の施設の耐震化の状況です。この施設の耐震化につきましては、全ての学校で耐震化は済んでおりますけど、ただ非構造部材というのがありまして、田原のほうの体育館がつり天井のような形になっていまして、地震で天井が落ちたり、そういった被害があるというこ

とで、緊急で調査いたしましたら、6校の小中学校で非構造部材が使われているということがわかりました。そういったものについて、改修を行っていきますという答弁をしております。

この耐震化については、建物自体は耐震化されているが、窓ガラスについてはどうですかというような質問もあったものですから、飛散防止フィルムといったものも貼っていますし、まだ未整備のところについても、順次貼っていきますというような答弁です。

3番の学校施設の老朽化対策については、現在策定中の田原市学校未来創造計画の中で、従来の建替えという考え方から、長寿命化というように方針を変えまして、そういった全体の中で老朽化の対策もやっていくと。特にプールにつきまして、今のところ24校全てに設置されているのですが、プールは劣化が非常に早いものですから、これからプールについての老朽化対策、今後こういった整備をしていくのか、その辺も含めてこの学校未来創造計画の中に盛り込んでいくという答弁をしております。

次に無所属クラブの杉浦議員からの質問ですが、これは子ども若者支援ということで、子どもと若者の支援の状況をといた質問がございました。

質問の趣旨としては、相談に来れる人はいいいけれど、特にこの子ども若者支援の対象ですと、引きこもりの方です。そうすると相談にたどり着くまで、何か方法を取るべきではないかという部分、なるべくこちらのほうから、家庭に出向いて行ってというようなアプローチができないかという、こういった質問でした。

これにつきまして、実際、学校にいるうちはいいですが、学校を卒業してしまいますと、引きこもりがあそこにいるという情報がなかなかあがってきません。その中で、見つかった場合には、もちろん教育関係の機関もそうですけど、社会福祉協議会だとか、障害者総合相談センターだとか、そういった福祉関係の部署とも一体となって対応していきますという、こういった答弁をいたしました。

これについては、本当になかなか情報もつかみにくいというのは事実です。そういった人に対する支援策があまりないというのが大きな原因の1つにはなっていると思いますので、その辺も福祉関係と話をしながら、進めていきたいというように思っております。

次に、河辺議員からの質問です。

まず1番目は、給食費の無料化についてです。今回、河辺議員は、この給食費の無料化については、こういった無料化で子育て支援が進んでいるということがあれば、定住化促進にもつながるのではないかという、こういった視点での質問でした。

ただ、給食費無料化だけが子育て支援策ではなく、市としては、給食費無料化に限らず、全体的な子育て支援策を進めていくというよう

な答弁で、この全体的な子育て支援策の検討の中で、給食費無料化についても考えていきますという、そういったお答えをいたしました。

2番目は、医療費の関係です。

3番目で、同じく小中学校へのエアコン設置ということですが、先ほどの長神議員と一緒に、教育施設、その全体の整備の中で考えていくという答弁です。

最後、4番目は、子育て支援と教育のまち田原ということで、河辺議員の主張としては、子育て支援と教育のまち田原という宣言をやったらどうかというようなことですが、これについては、企画部のほうが、今のところそういった宣言をする考えはないという、こういった答弁をしております。

あとは、平松議員がドローンの運用について、普通、ドローンの運用ということだと、災害の関係、消防の関係、そういった部分の活用があるのですが、各部署でドローンの活用といえば何か考えられますかという、こういった質問があったものですから、教育部としては、例えばスポーツの記録撮影だとか、遺跡文化財の劣化等の調査、測量、記録写真、こういった活用が考えられますという答弁をしております。

平松議員としては、何とか田原市も市でドローンを導入できないかという、そういった視点からの質問でございました。

教育委員会の関係については以上です。

教育長

ただいま、事務局の説明がありました。

市議会第2回定例会、一般質問についてご質問等ございますでしょうか。

エアコンや給食、いろいろなことで予算もかかる中で、近隣の状況等もしっかり見極めながらいつかはということ。

教育部長

エアコンは本当に、いつかは早いうちにという意識、気はあります。他の修繕などが目白押しというのが正直なところで、何を優先順位にしていくべきかというような感じです。

教育総務課長

あと今、各学校に学校の教室内の温度調査についてアンケート形式の調査をさせてもらっており、その中で、空調、エアコンがついた場合のメリット、デメリットについて何か考えられますかというようなことも先生方に回答いただきました。やはり以前土井委員が言われたとおり、先生からも、女性生徒の立場で見た感じで、体調管理が難しいというのがデメリットになるというのがコメントがありましたので、一概にエアコンを全教室に入れるのが当たり前ではなくて、地区によって温度差もありますので、その辺の状況を見ながら慎重に対応したいと思います。市長からも空調よりも、まずはトイレの洋式化をという声がありましたので。

教育長

洋式化を第一にということで、エアコンについては、例えば豊川で始まっていますので、その様子を聞いたりして、慌てて踏み込むので

はなくて、よく調べながら取りつけて行きたいなど。

とにかく、そもそもちょうど3月に、適正温度が下は10度が17度に上がって、上が30度から28度、上は2度だけど下は7度という、適正を保つためにはエアコンをつけざるを得ないような状況なのだけど、つけないと言っているわけではないので、必要なところから順次というように考えていますので。

教育部長

特に今まで、私たちもエアコンというと夏場しか頭になかったですけど、教室の環境から風もよく入るだろうし、冬の対策も必要だなというの、もう一度考えていかなければいけないなというところです。

教育長

ということで、質問を受けながら、こちらもしっかり対応していきたいなというように思います。

では、以上で報告事項を終わりたいと思います。

次にその他ですけど、事務局から何かございますか。

教育総務課長

はい。次第にありますとおり、次回の第7回の定例会ということで、7月18日の水曜日の午後1時半を予定させていただきたいと思います。場所は北庁舎3階の300会議室で予定をさせていただきます。

また、1週間前には、告示ということで議案の配布をさせていただきますので、よろしくお願いします。

この後、終了後には、学校教育課から、秋の運動会の関係の予定調整もしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

事務局からは以上です。

教育長

事務局、終わりましたので、特に委員の皆さんのほうから何かございましたらと思いますが、せっかくの機会ですので、これどうですかとか、何かありましたら、まだ発言もない職員もおりますので。

博物館長

夏休みに対応いたします博物館の企画展の予定がございます。チラシが出来上がってまいりましたので、皆様のお手元に配らせていただきました。

7月14日から9月2日まででございます。また期間中にのぞいていただいたり、それからチラシの裏面には、展示解説ですとか、参加者を募集するような企画、こういったものも予定をしております。今年は特に、豊川用水の通水50周年ということで、いろいろなところで、いろいろなイベントが開催されておりますので、またぜひ期間中にご覧いただければありがたいと思います。

以上でございます。

教育長

そんな形で、豊川用水50周年の記念ということで7月14日から、夏休み中いっぱいということで、企画展がありますのでよろしくお願いいたします。

そのほかいかがですか。

では、以上をもちまして、本日の議事は全て終了いたしました。

ご協力ありがとうございました。
これをもちまして、田原市教育委員会第6回定例会を閉会とさせていただきます。

皆様、お疲れさまでした。

閉 会 午後2時30分

(会議録署名人)

委員長

委 員

委 員